

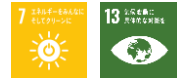
第7次環境取り組みプラン(2021～2025年度)

第7次環境取り組みプランでは特に脱炭素社会の構築に向けて、クルマの生産時および走行時のエネルギー使用量の削減を加速します。具体的には、生産時のCO2目標を従来の「台当り原単位」から「排出量」に変更し、再生可能エネルギーの導入を積極的に進め、これらの活動をトヨタ車体グループ連結で取り組みます。

◆脱炭素社会の構築

新車CO2ゼロチャレンジ

SDGsへの貢献



項目	目標及び実施事項
新車平均CO2排出量の削減	・トヨタの環境戦略に準拠した車両の開発
電動車の普及	・超小型BEVの普及に向けたコムスの商品開発

工場CO2ゼロチャレンジ

SDGsへの貢献



項目	目標及び実施事項
生産活動におけるCO2排出量の削減	・2013年度比▲30% ※1
再生可能エネルギーの導入	・太陽光発電による再生可能エネルギーの導入

※1 自社+国内外連結子会社(生産系)

◆循環型社会の構築

循環型社会・システムの構築

SDGsへの貢献



項目	目標及び実施事項
石油由来プラスチックの削減	・植物材料開発と車両部品への実装
生産活動における廃棄物の低減	・資源投入量と廃棄物量の最小化

水環境インパクト最小化

SDGsへの貢献



項目	目標及び実施事項
生産活動における水使用量の低減	・日常改善とライン更新時の節水技術導入

◆自然共生社会の構築

人と自然が共生する未来づくり

SDGsへの貢献



項目	目標及び実施事項
生産活動におけるVOCの低減※2	・塗料の水性化と使用量の低減
生物多様性保全	・地域と連携した、自然と共生する工場づくりの推進

※2 VOC：揮発性有機化合物